



SDI スイッチャ

ISW-7MX3

リモート (Control Input) 操作通信仕様

—第1版—

梅沢技研株式会社

目次

リモート (Control Input) 操作通信仕様

1. シリアル通信条件	2ページ
2. LANによる接続	2ページ
3. コマンド表	2ページ
4. 制限事項	3ページ
5. コマンド詳細	3ページ

リモート(Control Input)操作通信仕様

1. シリアル通信条件

RS-232Cによるシリアル通信でリモート制御が可能です。

同期方式	調歩同期式(非同期)
ボーレート	9600, 38400 [bps]
データビット長	8 [bit]
ストップビット	1 [bit]
パリティ	なし

*工場出荷時のボーレートは9600bpsに設定しています。変更する場合は、正面パネルを外し、下部、左側のロータリースイッチを下表に従って設定し、電源を再投入して下さい。

ロータリースイッチ設定	ボーレート
0	9600bps
1	38400bps

2. LANによる接続

TCP/IPプロトコルによるソケット通信でリモート制御が可能です。

通信方式 : TCP/IP
IPアドレス : (デフォルト) 192.168.1.250
サブネットマスク : (デフォルト) 255.255.255.0
ポート番号 : (デフォルト) 10001

3. コマンド表

項目	コマンド (ASCII)	補足	機能
(1)	PWONcr		POWERスイッチをONする
(2)	PWOFcr		POWERスイッチをOFFする
(3)	PW?cr		POWER状態要求
(4)	@x,ycr	x: "0"~"40" y: "0"~"40"	クロスポイントの切り換え
(5)	Rcr		クロスポイントの取得
(6)	Wcr		クロスポイントの記憶

※ " cr" はHEXコード '0D'Hを表します。

リモート(Control Input)操作通信仕様

4. 制限事項

- ・設定モード中は全てのコマンドが無効となります。
 応答データ(ASCII) : NAKcr
- ・連続送信は応答データ受信後、送信して下さい。
- ・異常データ受信時は下記データが送信されます。
 応答データ(ASCII) : NAKcr

5. コマンド詳細

(1) POWERスイッチのON

コマンド(ASCII)
PWONcr

応答データ	
正常応答時	異常応答時
ACKcr	NAKcr

- ・当コマンドを受信することにより、本体がスタンバイ中(POWERスイッチが消灯中)の場合、POWER ONとなります。

(2) POWERスイッチのOFF

コマンド(ASCII)
PWOFcr

応答データ	
正常応答時	異常応答時
ACKcr	NAKcr

- ・当コマンドを受信することにより、本体がPOWER ON中(POWERスイッチが点灯中)の場合、POWER OFFとなります。

リモート(Control Input)操作通信仕様

(3) POWER状態要求

コマンド(ASCII)
PW?cr

- POWER状態を要求します。本体は当コマンドを受信後下記の応答ステータスを送信します。

応答データ (全データ長5byte)

NO.	データ詳細	データ長	出力値
1	ヘッダー部	3	"PW="
2	POWER状態	1	'0' : OFF '1' : 起動中 '2' : ON '3' : OFF処理中
7	データ終了	1	cr

- (例) POWER ON時の応答 : PW=2cr

リモート(Control Input)操作通信仕様

(4) クロスポイントの切り換え

コマンド(ASCII)
@x,ycr
x: "0"~"16" y: "0"~"16"

コマンド詳細

@ [出力番号] [,] [入力番号] [cr]

出力番号は"0"~"40"を指定します。また、最大3桁(例:"016")の指定が可能です。
出力番号"0"はALLの指定です。

入力番号は"0"~"40"を指定します。また、最大3桁(例:"016")の指定が可能です。
入力番号"0"はOFF(映像信号の切断)の指定です。

応答データ	
正常応答時	異常応答時
ACKcr	NAKcr

- ・クロスポイントの切り換えを行います。
- ・本体がPOWER ON時に制御可能です。OFF時は"NAKcr"を返答します。
- ・(例) OUTPUT 5にINPUT 1 2をセットする : @5, 12cr
 上記を3桁指定でセットする : @005, 012cr
 OUTPUT全てのINPUTを7にセットする : @0, 7cr
 OUTPUT 1 4のINPUTをOFFします : @14, 0cr

(4-1) 複数のクロスポイントの切り換え

コマンド詳細

@ [出力番号1] [,] [入力番号1] ; [出力番号n] [,] [入力番号n] [cr]

セミコロン

切り換えたい数分セミコロン[;]で繋ぎ、最後にcrを送信します。
指定数は最大40まで可能です。

- ・(例) OUTPUT 5にINPUT 1 2、
 OUTPUT 1 0にINPUT 6、
 OUTPUT 1 5にINPUT 3、をセットする : @5, 12;10, 6;15, 3cr

リモート(Control Input)操作通信仕様

(5) クロスポイントの取得

コマンド(ASCII)
Rcr

- ・クロスポイント状態を要求します。本体は当コマンドを受信後下記の応答ステータスを送信します。
- ・本体がPOWER ON時に応答可能です。OFF時は"NAKcr"を返答します。

応答データ (全データ長162byte)

R [OUTPUT1の入力番号] [OUTPUT1の入力番号] [OUTPUT40の入力番号] cr
出力番号1～40までの設定されている入力番号を3桁固定で応答します。

(応答例)

```
R;007;002;009;012;000;008;009;001;002;000;005;012;015;008;011;009;007;002;009;012;000;008;009;001;002;000;005;012;015;008;011;009;007;002;009;012;000;008;009;001cr
```

(6) クロスポイントの記憶

コマンド(ASCII)
Wcr

応答データ	
正常応答時	異常応答時
ACKcr	NAKcr

- ・当コマンドを受信することにより、現在のクロスポイント状態を記憶します。
これにより、次回POWER ON時、記憶したクロスポイントで起動します。
- ・本体がPOWER ON時に応答可能です。OFF時は"NAKcr"を返答します。
- ・本体がPOWER ON状態のまま、電源を切断した場合、前回起動時のクロスポイント設定で起動します。
- ・POWER OFF処理を行うと、自動的にクロスポイントは記憶されます。

注) 記憶処理実行後、応答するまで、約3秒かかります。それまで、コマンドは送信しないで下さい。